



わた なべ てる かず  
**渡 辺 晃 一**

つ し みん かい  
**津市民の会**

### 職員2,500人体制のさらなる充実を

**問** 新津市になり職員約3,200人から現在の2,500人体制になった。市民サービス向上のためには、計画的な職員の育成が必要不可欠であるが、今後どのような方針で職員を育成するのか。また、専門性の高い技術職員は1年や2年で異動させず職場を固定し、スペシャリストとして養成する必要がある。職員の技術の伝承をどのようにしていくのか。

**答** 計画的な人事異動を行い、幅広い行政経験や能力を習得できるようにするとともに、自己希望制度により、自身のキャリア形成への意向を人事管理に反映できるようにしている。さらに職位等に応じた研修を実施し、求められる知識や技術を身に付けるよう取り組んでいるほか、より高度な専門的知識の習得のため、専門機関で研修を受ける機会も設けている。今後も多様化する行政ニーズなど時代の要請を踏まえ、職員体制に応じた計画的な人材育成に努めていく。特に技術職員は経験年数を要し、また関係法令等に精通した者が必要となることから、現場で先輩職員から教わるOJTや研修を活用しながら、技術の伝承に取り組んでいく。

### ●その他の質疑・質問●

○人と愛護動物の共生について取組状況は。また、市民の苦情に対しどう対応しているのか  
○衆議院選挙の期日前投票が1時間待ちが出るほど混雑したが、今後解消に向けてどうするのか  
○香良洲地区の地籍調査の進捗は。また、今後調査をどのように進めていくのか  
○お年寄りの集うサロンへの財政支援の効果と課題は など



▲OJT研修受講中の職員研修風景



さ と う ゆ う き  
**佐 藤 有 毅**

いっ しん かい  
**一 津 会**

### 雲出川水系河川整備計画の進捗状況は

**問** 平成26年11月25日に発表された雲出川水系河川整備計画は、今後30年間の整備の内容である。計画が策定され3年が経過したが、現在の整備の進捗状況は。また、年次計画および具体的な整備計画はどのように策定され、河川改修に伴う横断工作物（頭首工）の撤去はなされるのか。雲出川水系河川整備については、津市からも国交省へ積極的に働きかけを。

**答** 平成29年度は、雲出伊倉津地区において高潮堤防や耐震対策工事が実施され、雲出島貴地区では河道掘削が実施されているが、まだまだ進んでいないことから、国交省等に対し、早期整備に向けた要望活動を行ったところである。年次計画等については、三重河川国道事務所が学識経験者等で構成される雲出川技術検討会を設置しており、今後の工程を含めた方針を年度内に取りまとめ、来年度以降に模型実験等を行った上で整備が進められると聞いている。また、河川横断工作物については、国において廃止する方向で検討が進められており、雲出川水系に係る頭首工等についても撤去に向け取り組んでいく予定と聞いている。

### ●その他の質疑・質問●

○平成29年度津市一般会計補正予算（第8号）歳出 民生費  
●障害者福祉事業および障害者総合支援法関係事業について  
○平成30年4月から開園の津市立幼保連携型認定こども園について、スムーズな移行ができるよう準備が進められているのか  
○小中学校からの施設整備要望に対する整備方針について など



▲浸水被害がなく安心して暮らせることが地域住民の悲願